

令和5年度補正予算（一般会計・特別会計・公営企業会計）を可決

主な内容（歳出）

一般会計（1億218万円増額）（第4号）

- ・各施設電気料高騰分（3953万円）
- ・医療・福祉サービス事業所等原油価格等高騰対策支援金事業（4477万円）
- ・保育園運営事業（3140万円）

国民健康保険特別会計（3億1969万円増額）（第1号）

後期高齢者医療特別会計（206万円増額）（第1号）

介護保険特別会計（2億6770万円増額）（第1号）

宅地等開発事業特別会計（167万円増額）（第1号）

竜天オートキャンプ場特別会計（98万円増額）（第1号）

外3会計



議案審議

9月定例会を8月30日から9月28日まで30日間の会期で開催した。人事案件2件を適任、決算10件を認定、議案14件を可決とした。

赤磐市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例を可決

はじまろうぜ！
スマホ用電子証明書搭載サービス
2023年5月11日よりまずはAndroidから！

① あなたのマイナンバーカードのICチップに格納されている署名用電子証明書を、あなたのスマホに、新たにスマホ用電子証明書を搭載するサービスです。

② マイナンバーカードなしで、スマホだけで、様々なサービスの利用や申込ができるようになります。

③ これまでマイナンバーカードの電子証明書を使わないと受けられなかったサービスが、順次、あなたのスマホだけで利用できるようになります。

詳しくはこちら→

スマホ用電子証明書搭載サービス

問 今回の改正で何がどう変わるのか。

答 改正後は今までのマイナンバーカードと同様にスマートフォンを利用して証明書の交付申請ができるようになる。（開始時期については未定。）

12月議会のお知らせ

- 11月28日（火）議案上程
 - 11月30日（木）一般質問
 - 12月1日（金）一般質問
 - 12月4日（月）一般質問
 - 12月6日（水）質疑・委員会付託
 - 12月8日（金）厚生文教常任委員会
 - 12月11日（月）産業建設常任委員会
 - 12月12日（火）総務常任委員会
 - 12月14日（木）予算常任委員会
 - 12月20日（水）最終日（委員長報告・質疑・討論・採決）
- ※この日程は予定です。日程は、11月21日開催の議会運営委員会で決定します。

9月定例会のあらまし

委員会のついで

いっばん質問

その他協議会等



人事案件

次のとおり適任とした。

人権擁護委員

内藤 良映（多賀）
小林 一恵（佐古）

【任期】

令和6年1月1日～
令和9年12月31日

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしている民間の人々です。

赤磐市は現在13人の人権擁護委員が活動しています。

赤磐市では平成26年10月17日に人権尊重都市宣言を制定しています。

討 論

認第1号 令和4年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

（1人）

▽高校生の通学費補助、学校給食費の無償化、松くい虫の空中散布の取りやめについて、令和4年度当初予算で反対しており、財政の全体的な使われ方の審議なので反対する。

認第2号 令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

（1人）

▽今の生活実態は国保税が払えない世帯が増えている。市は、就学前の子供の均等割の半分を独自で支援して、国保税をもっと引き下げる努力をすべきである。

認第3号 令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【反対討論】

（1人）

▽75歳以上で年収200万円以上の人は医療費窓口負担が2倍になっている。この2倍化を許さない立場として反対する。

認第9号 令和4年度赤磐市水道事業会計決算の認定について

認第10号 令和4年度赤磐市下水道事業会計決算の認定について

【反対討論】

（1人）

▽令和4年度から水道料の検針を毎月から2カ月ごとに変更し市民の安心を低下させた。水道管から漏水していたら、検針員が知らせてくれる安心感があった。検針者の雇用を奪うことにもなるので反対する。

議第36号 赤磐市いじめ問題対策連絡協議会等条例

【反対討論】

（1人）

▽今回の赤磐市の条例制定は、後発の条例制定でありながらあまりに全国情勢から学んでおらず、子供を一人残らずいじめから取り残さないという熱意が感じられない。この条例は大変重要であると考え、再度検討して子供をいじめから守るといふ決意が伝わる条例の再提出を求めていきたい。

【賛成討論】

（1人）

▽いじめ問題に対応する組織がつけられるということで大きな前進だと評価する。本条例による連絡協議会、委員会がいじめの早期発見と適切な事後対応、再発防止に有効に機能することを期待して賛成する。

令和5年9月第4回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	牛尾直人	鼻岡美保	安藤利博	永徳省二	大森進次	光成良充	保田 守	大口浩志	治徳義明	原田素代	金谷文則	松田 勲	福木京子	佐藤武文	下山哲司	実盛祥五	佐藤 武	
認 第 1 号	令和4年度赤磐市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
認 第 2 号	令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
認 第 3 号	令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
認 第 9 号	令和4年度赤磐市水道事業会計決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
認第10号	令和4年度赤磐市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
議第36号	赤磐市いじめ問題対策連絡協議会等条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	—

○=賛成 ●=不賛成

※佐藤武議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※下記に記載する議案については、全会一致で可決しています。

議案番号	案 件	議決結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
認 第 4 号	令和4年度赤磐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 5 号	令和4年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 6 号	令和4年度赤磐市宅地等開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 7 号	令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認 第 8 号	令和4年度赤磐市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議第33号	赤磐市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第34号	赤磐市空家等の適切な管理の促進に関する条例の一部を改正する条例	可決
議第35号	赤磐市赤坂中学校区における小学校統合準備委員会設置条例	可決

議案番号	案 件	議決結果
議第37号	赤磐市火災予防条例の一部を改正する条例	可決
議第38号	令和5年度赤磐市一般会計補正予算(第4号)	可決
議第39号	令和5年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第40号	令和5年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議第41号	令和5年度赤磐市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決
議第42号	令和5年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第43号	令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第44号	令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算(第1号)	可決
議第45号	令和5年度赤磐市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決
議第46号	令和5年度赤磐市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決

決算審査 特別委員会

9月11日、9月12日、9月13日に決算審査特別委員会を開催し、議案10件について審査した。

一般会計

総務常任委員会所管部分

問 移住・定住相談事業で移住コンシェルジュが移住の相談や空き家等の利活用に関する相談を150件受けているが、それぞれの件数と移住につながった件数は。

答 移住に係る相談の中にも空き家の相談があり、厳密な件数は出



移住コンシェルジュ

していない。また令和4年度に相談から移住につながった件数は15件である。

問 市町村税整理組合分担金は165万6145円だが、整理組合からの徴税実績はいくらか。また不納欠損や収入未済の整理方針は。

答 組合の実績は約1071万円である。また滞納整理については、現年については会計年度任用職員が早めに接触して徴収を行っているが、過年の特に古いものは、差押え等を行なっているが、換価が難しいものもあり、実績が上がっていない状況である。

問 職員研修にハラスメントに対しての研修回数が出ていないが、ハラスメントに関しての研修は行っていないのか。

答 ハラスメント研修と名前はついていないが、一般研修のユニバーサルマナーセミナーは相手の気持ちになって行動するという事を研修目的としており、ハラスメントに気を付ける事が目的の研修である。また、岡山県市町村職員研修センター実施の研修の中に、ハラスメント研修が1件入っており、13人が受講している。

問 前年度に比べ国庫支出金が約12億円減っており、負担金が6千万円、補助金が11億4千万円の減収になっているが、その内容は。

答 主な要因は、新型コロナウイルススワクチン接種対策の負担金・補助金が減っている。

厚生文教常任委員会 所管部分

問 福祉タクシー券事業の対象者数と実際に利用した人数は。

答 対象者は75歳以上の非課税世帯で700世帯以上、全体の利用率は49・9%である。



福祉タクシー券（見本）

問 子供医療費事業の事業費のうち高校生の事業金額はいくらか。

答 延べ件数が8736件で金額は1359万2629円である。

問 赤磐市社会福祉協議会への補助金が約6600万円、令和3年度が約7700万円、令和2年度が約9400万円、令和2年度と比べると約3割減となっているが、主な

理由は。

答 主な要因は正規職員2人の減があったが、正規職員を補充せず臨時職員一人に対応した経緯があり、約1100万円の減となった。

産業建設常任委員会 の所管部分

する事業であり、付随する問題に対しては別の対策を進める必要性を認識している。

問 あかいわ観光・グルメスタンプラリーの具体的な成果は。

問 農地集積促進事業と農地はつらつ集積事業は、長年これらを促進しているが、水の問題について問い合わせはないのか。また、これらの事業は農地の借り手と貸し手個人に対するものではないが、地域や水利組合等にもアレンジできる施策にならないのか。

答 この事業で水の問題は聞いてないが、一般論として地域外の耕作者には地域のルールが解りづらいという問題は耳にしている。またこの二つの事業は農地の貸し借りを後押し

答 このスタンプラリーの参加者は4729人で、参加店舗が付与したポイントが6500ポイントであった。参加店舗からはコロナ明けでお客さんが戻って来るか心配だったが、大変助かったとの声があった。



あかいわ観光・グルメスタンプラリー

予算 常任委員会

9月22日に予算常任委員会を行った。
議案9件について審査した。

一般会計

医療・福祉サービス事業所等原油価格等高騰対策支援金4477万円計上

問 介護事業所や障害者福祉事業所の原油価格高騰予算は、事業所が何件あるか。平均的に支援するのか。

答 社会福祉課関係は52件、介護保険課関係が70件、子育て支援課関係が39件、健康増進課関係、医療機関が96

件。事業所の種類や規模等によって支給額は変える。

生活交通対策事業に係る総務費国庫補助金3056万円増額

問 デジタル田園都市国家構想交付金について説明を。ハレカハーフ関係に全部使うのか。

答 当初予算では一般財源で措置していたが、国庫補助金の交付対象となり、財源を入れ替えた。事業について変更はない。

デジタル田園都市国家構想交付金TYPE1優良モデル導入支援型として、ほかの地域等ですでに確立されている優良モデルサービスを活用する取り組みとして採択された。

ハレカハーフ事業全般に関しての補正で、事業費に充当する。

「ハレカハーフ」購入に係る経費を411万円増額

問 今回はどういふところを増額するのか。

答 半導体不足からICカードの調達に時間を要している。当初5千枚を確保する予定であった。次年度以降もかなりの量が必要になる可能性があり、追加で5千枚を用意する考えである。



ハレカハーフ（見本）

桜が丘いきいき交流センター20周年記念事業に39万円計上

問 20周年記念事業は当初から分かっていた。直近の9月議会に補正で計上した経緯の説明を。

答 20周年になることは分かっていたが、イベントの計画は当初段階ではしていなかった。運営委員会の意見で、事業実施を決定した。



桜が丘いきいき交流センター

特別保育事業補助金75万円計上

問 保育園・こども園の使用済みのおむつ処理の補正だが、環境整備が含まれるのか。

答 0・1・2歳児の人数に300円を掛けて計上している。環境整備費用は含まれていない。

統合準備委員会報酬78万円計上

問 赤坂地域の学校統合準備委員会は、何回開催する予算を上げているか。

答 年度内に4回を想定している。

いじめ問題対策連絡協議会委員報酬48万円計上

問 いじめ問題対策連絡協議会は何回を予定しているか。

答 最低5回程度と考えている。

各施設電気料高騰分3953万円増額

問 小・中学校への原油価格高騰による電気料の増額補正は、年度末までの予算を見越している額か。エアコンが効かなくて子供たちが我慢していることはないか。

答 業務用電力の契約をしている学校・園は、単価が上がる。年度内の経費を見越しての増額補正。

我慢をしている子供たちはいない。

地域子育て支援拠点事業補助金243万円増額

問 子育て支援施設が常勤職員を配置するが、これは何か。

答 民間の子育て支援センターに常勤職員を配置するための増額補正。年度内に常勤職員を置く国庫基準額が上がる。

**施設維持管理工事費
420万円増額**

問 庄徳庵の修繕に追加があるが、当初予算から見積もりができていないのはどういふことか。

答 当初は概算で550万円計上した。屋根の工法が鋼板に決定し、天井の2分の1撤去等が必要となり補正予算を上げた。見込みの甘さは否めないが切り詰めて数字は出している。

問 埋蔵文化財の調査の場所はどこか。公共ゾーンか商業ゾーンか。そこは事業者がやるのではないか。

答 岩田の新拠点整備事業の予定範囲が文化財の包蔵地なので、試掘が必要。該当地域に遺跡がないか確認のため

めの試掘で全体で9カ所。埋蔵文化財が見つかれば、本格調査はそれぞれが行う。

**国民健康保険
特別会計**

**施設維持管理工事費
107万円計上**

問 熊山診療所の発熱外来のためにカーポートを設置するが、見通しはどうか。

答 コロナの感染症はまだ続いている。インフルエンザなど発熱の患者もおり、続くと見込んでいる。



カーポート設置場所

**介護保険
特別会計**

**国庫支出金等返還金
1億3308万円増額**

問 国庫、県費等支出金の精算返還金が大きくな金額だが説明を。

答 国からの交付金が多めに入っているが、コロナの関係で保険給付費が伸びなかったこともあり返還金が増えている。

産業建設常任委員会で行った予算に対する質疑を掲載しています。

一般会計

**農業経営収入保険
加入支援事業に2
50万円計上**

問 農業経営収入保険は簡単に言うとういう保険なのか説明を。

答 岡山県農業共済組合が取り扱っている保険で、自然災害とか、今回のコロナの影響による価格の下落、さまざまな資材の高騰、農業者本人のけがとか、いろいろなリスクにより収入が減った場合、さまざまな原因に対応した収入減を補填する保険である。

問 どれだけの農業者が加入しているのか。

答 継続分で76件、新規分で20件の予算を組んでいる。

問 この保険の加入者への補助制度は県下で進められているのか。

答 多くの自治体で同様の補助を行っている。

**宅地等開発事業
特別会計**

**宅地等開発事業で
繰越金167万円
増額**

問 繰越金は増加している。宅地を売る努力は。

答 分譲宅地の販売の促進では、新聞に広告掲載を年4回している。令和4年度は1件の販売実績がある。



安岡住宅団地宅地分譲

総務 常任委員会

9月15日に総務常任委員会を行った。
議案1件について審査した。

条例の改正

赤磐市火災予防条例の一部を改正する条例

急速充電設備の全出力の上限を撤廃し、今まで変電設備としていたものを急速充電設備として取り扱う。

問 国の法律改正によるということだが、根拠となる法律は何か。
答 国の消防法の改正によるものである。



急速充電設備

厚生文教 常任委員会

9月19日、厚生文教常任委員会を行った。
議案3件について審査した。

条例の制定

赤磐市赤坂中学校区における小学校統合準備委員会設置条例

問 準備委員会の部会

はどのようなものか。

答 学校運営部会で校章、校歌、制服、校則等を協議する。教育課程部会で学校教育目標、教育課程等を協議する。地域連携部会で通学路、スクールバス、PTA活動、学校運営協議会等を協議する。

問 準備委員会の決定が、教育委員会の決定になるのか。

答 最終的には教育委員会が決定するが、準備委員会で協議、調整したことを尊重する。

問 委員会開催の頻度は。

答 2カ月に1度、状況によっては1カ月に1度。

問 準備委員会は答申を出したら解散となるのか。

答 答申が出た段階で任期は終了する。

問 3校が1校になって、その後義務教育学校を作るのは手間も費用もかかるがどうか。

答 まず3校統合を進め、インクルーシブ(※)な学校運営を確立する。義務教育学校はその後検討する。

※子供たちはもちろん、保護者、教員、地域の方々すべてを包み込み、だれ一人取り残さない、皆で作り上げていく学校運営

赤磐市いじめ問題対策連絡協議会等条例

問 重大事態の基準や運用は。

答 法では児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。いじめにより相当の期間欠席しているとの定義。重大事態と判断された場合、委員会を立ち上げ調査する。

問 被害者の権利はどうやって守られるのか。

答 事実関係を調査し、相談機関として教育委員会や、りんくすテーションなどが考えられる。

問 設置要綱を作つて、委員会の権限範囲を謳うべきでは。

答 国のガイドラインに従い調査を進める。

産業建設 常任委員会

9月20日に産業建設常任委員会を行った。
議案1件について審査した。

条例の改正

赤磐市空屋等の適切な管理の促進に関する条例の一部を改正する条例

問 この改正でどこが今までと変わるのか。

答 空き家の所有者に対して国や自治体の施策に協力するよう努力義務が課せられることになる。

問 努力義務というのは、個人的なことなのか、行政が努力して解決しなければいけないのか。持ち主がわからない場合どうするのか。

答 所有者不明の場合は、戸籍など調べて所有者を特定し、所有者に対して今の状況や対策を確認し強く指導していく。

問 所有者を徹底的に調べてもわからない場合はどうなるのか。

答 所有者がはっきりしない場合は、管理の確保ということで、空家等管理活用支援法人を指定して、連携をとって対応していく。特措法は改正されていないが、施行はされていないので、これから詳細なガイドラインが国から示される。

一般質問

市の考えを問う



12人の議員が登壇し市の考えをたきました。
一般質問通告事項は次のとおりです。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	質問事項	質問議員	質問事項
金谷 文則 10ページ	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税およびその返礼について 安心安全な街づくり、人が集まってくる街づくりについて 下水道工事の進捗および企業進出計画について 拠点整備事業の進め方について 	鼻岡 美保 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎の改修 新規住民税非課税世帯へのワンストップ給付 国保の1.5%ルール 地方自治体DXとマイナンバーカード 桜が丘中央の整備 市民とともに進める持続可能な赤磐市を
永徳 省二 10ページ	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力テストについて 桜が丘東浄化センターについて 通学路の安全について ヤングケアラーについて 高齢者支援について 	大口 浩志 14ページ	<ul style="list-style-type: none"> 教育予算の増額について 教育委員会の守備範囲の拡大を 避難所運営のあり方について
安藤 利博 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントについて 立地適正化計画の疑問点 	原田 素代 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> まちの将来に対する責任
松田 勲 11ページ	<ul style="list-style-type: none"> 投票率向上のための取り組みについて 	佐藤 武文 15ページ	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会で生じた利益は、職員に分配することが許されるのか パワハラ問題等の対応がなぜできないのか まちづくり構想に市民の意向が反映されない理由はなぜなのか 就農等支援センターは、これからの赤磐市の農業にどのように活用され、効果が期待できるのか 英語教育は万全な体制で教育が行われているのか
大森 進次 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 支所、出張所のあり方について タブレット端末を活用した窓口業務について 交通安全施設の適正な管理ができていないのでは 		
福木 京子 12ページ	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の医療費1割負担をなくし、完全無料化を 赤磐市太陽光発電に関する条例について 赤磐市小規模企業・中小企業振興条例について 新下市橋の交差点の渋滞の解消を 		
治徳 義明 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災対策について 視覚障がい者のための「音声コード」の活用促進について 高校生までの医療費の無償化の取り組みについて 		
保田 守 13ページ	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会第三者委員会の報告を受けて今後について 		

表紙の一言

吾・唯・足・知（わたただたるをしる）
物豊かにして心貧しいといわれる現代によく
翫味し心の糧としたい言葉です。
この碑は昭和61年9月15日に吉井町高田銀
鈴会（老人クラブ）の人々が、老齢年金の支給
ならびに老人医療の無料扱いその他の老人福祉
等に感謝の意を込めて建立したものです。
美作岡山道吉井ICを右折して約400m先の
国道484号線沿い（赤磐市稲蒔地内）にあります。



金谷文則議員

ふるさと納税返礼品

問 返礼品に対する評価はどうか。

答 人気返礼品の桃やぶどうは岡山県共通返礼品となり取り扱う市町の増加もあり額が減少した。寄付額は2億8千万円超で、1万1千件超のうち1800件超のリピートがあり一定の評価があると考える。

問 桃やぶどうは県内で競合している中、到着した商品のクレームも聞いている。マイナス効果にならないよう業者へ適切な指導をすべきと思うが。

赤磐市民の他の地域へのふるさと納税はいくらあるのか。

答 事業者と連絡を密に取り優良な返礼品の送付に努めたい。

市在住の人が他市町

村に寄付し市税から控除された額は約5千万円。実収入額は、寄付額2億8千万円から経費1億4千万円と控除額5千万円を引いた9千万円となる。

安心・安全な街づくり、人が集まってくる街づくりについて

問 安心・安全な街づくりのためにどのような対策を取ってきているか。どのような対策を取っていかなければならないか。

少子高齢化の中では、従来通りの地域負担など、見直さなければならぬのでは。また、公園の整備等、都市といわれるところだけでなく、赤坂や吉井地域など人が集まり暮らすように思える街づく

りが必要だ。

答 災害、犯罪、交通事故などの生活を脅かす要因への対策。医療、福祉、教育などの環境づくりを進めてきた。地域の皆さんの意見を聞きながら考えていきたい。特に赤坂ファミリー公園は良い環境にあると考える。どのような公園づくりが良いか研究検討する。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



赤坂ファミリー公園

問 教育長の感想は。

答 全ての教科で全国平均点を下回っており、現在の学力状況を示す一つと捉え真摯に受け止める。

問 来年度以降の数値目標は。

答 令和6年度全国平均プラス1ポイント。

問 桜が丘中学校フェンス

昨年6月、フェンス下が腐って、いつ倒れてもおかしくないと指摘したが、1年3カ月ほったらかし。どうなっているのか。

もしも風や地震で倒れ、けが人が出たら天災ではなく人災だ。

答 学校と相談し早期に実施していきたい。

問 桜が丘東浄化センター

岡山県が汚水処理



永徳省二議員

全国学力テストは 惨たんたる結果に

施設の統廃合に向けた計画を策定した。市内での再編協議をスタートさせているのか。

答 まだ、スタートできてない。

問 統廃合に桜が丘東浄化センターは含まれるのか。

答 集約される施設に位置づけられている。

問 桜が丘東から熊山浄化センターへの転送工事の進捗状況は。

答 熊山処理区へ自然流下で切替え可能な範囲を実施している。令和5年度完了予定。

問 高齢者支援について

市内に単身高齢者は何人いるのか。

答 2千人を超える。

問 ごみ出しの支援はどうなるのか。

答 地域福祉を担う関

係団体や地域の皆様と連携した地域づくりを進めていきたい。

問 運転免許返納者に対する移動支援は。

答 タクシー利用支援のためチケットの配布を行っており、利用してほしい。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



タクシー利用チケット



安藤利博議員

立地適正化計画の疑問点



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 都市機能誘導準備区域及び公共ゾーンの面積、地権者数は。

答 都市機能誘導準備区域は約30ha、約400筆。公共ゾーンは4.5haで全体の2割程度。

問 道の駅の場所は他に検討したか。備前国分寺跡付近や、地質資源の宝庫の吉井地域の方が相乗効果がある。

答 市街化区域に隣接、幹線道路沿い、山陽インターとの位置関係を基に複数候補地と比較し決定した。

問 交通結節点というが、どんな交通手段が何便発着するのか。

答 乗り入れる交通機関の種類を検討、路線見直しを行う予定。現段階では具体的に示せない。

問 大型商業施設の進

出により既存スーパーの撤退は絶対にならないか。

答 市内に充足している日用品を扱う商業施設は誘導しない。既存スーパーとの競合には配慮している。

問 文化ホールは都市拠点に立地を推進する施設とされながら、広域連携により立地を検討する施設になっている。都市機能誘導施設に入っていない。岡山市のハレノワでやれということか。

答 市の財政状況等を考慮し、他の公共施設との複合化など総合的な検討が必要。

パブリックコメント

問 令和3年度以降のパブリックコメント募集件数は。そのうち提出人数上位5位の提案



新拠点予定地（河本・岩田地区）

人数は。募集方法の改善点はないか。

答 募集件数は令和3年度6件、4年度4件、5年度2件の12件。提出人数の上位は最多が7人で1件。次が3人の2件、2人が2件。多数の意見があるとは言えない状況で、公式LINE導入の可能性を研究している。

問 市民の声、特に若い人々の声をしっかりと形にしていこうためにも、選挙の投票率向上へさらに取り組んでいくべきではないか。

答 桜が丘いきいき交流センターは、有権者数が一番多いのに投票率は市内で一番低い投票所になっている。

山形県は投票に行くのに家族で行くことを推奨していて、結果18歳・19歳の投票率が高い。その中で遊佐町では予算が付いた本格的な少年議会をやっている。中学生、高校生から立候補者を募集し、予算の中で何ができるか子供たちがアンケートも取りながら議会を進めている。

町民へのアンケートでは、「遊佐町は若者



松田 勲議員

投票率向上の取り組みについて



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

の思いや声を取り入れたまちづくりができていくと思う」が7割以上とのことである。

若い人に意識を持つ取り組みを赤磐市からやっていくべきではないか。

答 合併後の市長・市議会議員選挙の投票率は、平成17年4月は75.24%。それに対し、令和3年3月では57.53%と低下している。同様に、国政・県政選挙も低下している。桜が丘いきいき交流センターについては、若い世代が多い地域と認識している。

市選挙管理委員会では、新たに有権者になる18歳の人へ選挙啓発冊子を郵送し、二十歳の集いでも冊子を配布するなどの啓発を行っ



選挙の啓発の冊子



大森進次議員

市役所支所・出張所の今後の在り方は



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 合併後18年が経過し快適な市民生活の提供を維持し、持続可能な骨太の赤磐市の形成を図る中、支所・出張所は今後どのようにあるべきと考えるか。

答 公共施設等総合管理計画の個別施設計画で、長期的に支所・出張所も存続の方向性としている。支所・出張所は、地域拠点としての機能を有し、支所は地域の防災拠点としての機能も有している。市民サービスの低下とまらないよう配慮し、体制及び建物の在り方を考えていく。

問 支所・出張所の建物は建て替えなのか修繕なのか。

答 建物は老朽化している部分、耐震不足なところもある。改修ま

たは除却して別のところへの移転も念頭に置き、幅広い考えを持って今後進めていく。

タブレット端末を活用した窓口業務

問 6月議会で質問したが、その後の利用状況と市民の反響はどうか。

答 各支所・本庁にタブレット端末を備えて利用できる体制を整えているが、周知不足から利用は進んでいない状況で、引き続き周知を図り進めていく。

交通安全施設の適正な管理

問 道路の反射材、ライン、カーブミラーなどの適正な管理はできているのか。厳しい財政状況の中どう適正管



吉井支所

理を進めるのか。新たな手法を考える必要があるのではないかと。道路パトロールや市民からの情報提供により、損傷の程度や危険性を考慮し、緊急性の高いものから適時補修や修繕を行っている。厳しい財政状況の中、適正な管理が行えるよう予算確保に努める。

問 農業関係者から太陽光パネル設置で、学校などの周辺は景観上よくない。農業振興をする市の考えと矛盾するのではないかと声が届いている。

答 農地転用は、太陽光パネルに限らず農地以外の用途に使用する

太陽光発電に関する条例について

問 周辺自治体の動向を見ると再検討しなければならぬ時期が来た実感している。検討する。

問 高校生の医療費1割負担をなくすには700万円が実現。他の自治体は子育て支援策を進め、高校生までの無料化を実施している所もある。市長は無料化を決断すべきだ。

場合、農業委員会の許可が必要。農地法に基づく所定の要件を満たしている場合のみ許可される。

小規模企業・中小企業振興条例について

問 新拠点構想で商業地に外資系資本の大型店が来るうわさが本当なら市内業者の倒産が予想される。市の振興条例との関わりでどう考えているのか。

答 市の人口に比べ商業販売額、工業出荷額が極めて少ない。一方店舗立地は既存の店舗への影響が懸念されることから積極的に誘致はしないという方針としている。



コープ山陽あたりまで渋滞している車

新下市橋の交差点の渋滞解消を

問 新下市橋交差点は早朝通勤時には車の渋滞が発生。桜が丘地域からの左折レーンを作ってはどうか。

答 平成27年度に交差点の改良がされた。渋滞の件は承知しているが、当面バス等の公共交通での促進で緩和を図っていききたい。



福木京子議員

高校生の医療費1割負担なくし完全無料化に



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



治徳義明議員

高校生までの医療費の無償化の決断を



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 高校生までの医療費の無償化は子育て支援の重要課題であり、岡山県下の自治体でも標準に成りつつある。

答 「子育てするならばあかいわ市」を掲げる本市も、今こそ決断すべきでは。

問 周辺の自治体の状況等を鑑み、検討を深め、階段を一つ上げる。

防災・減災対策

問 努力義務化された個別避難計画の作成は。

答 避難行動要支援者は2509人である。地域に協力をいただきながら適正な計画策定を行う。

問 「家族防災会議の日」を制定してマイ・タイムラインの普及を推進すべきでは。また、気象防災アドバイザー

の活用をすべきでは。

問 防災士連絡会の勉強会で、防災の専門家と地域の人が地区内をくまなく回って、自ら地域のハザードマップを作製した自主防災組織の活動報告を聞いた。防災・減災に直結する取り組みと考える。

答 検討する。この「地域別ハザードマップ」の取り組みを推進すべきでは。

問 有効な取り組みで、市として協力していく。

答 災害時に防災情報通信機能、防災地図機能、SOS機能等々、さまざま機能を活用して市民の安全を守る



内閣府の「音声コード」の説明文

ことができると赤磐版「防災アプリ」の導入をすべきでは。

答 今後、情報収集に努めて検討をする。

情報のバリアフリー

問 視覚障害者の情報取得は大きな課題である。市民に送付される公的な通知等に「音声コード」記載を進めるべきでは。

答 第四期障害者計画の概要版には取り入れる。また、活用の促進を研究、検討する。



保田 守議員

社会福祉協議会問題の責任は誰がとるのか



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 社会福祉協議会の第三者委員会の報告を受けて、市長として市民に具体的な説明はいつやるのか。

答 第三者委員会の報告において疑問と思われる事項があったら、それを社会福祉協議会に尋ねて公表するという考えである。

問 処遇改善手当は法律で介護職員に支給されるものだが、なぜ事務職に支給されたのか。

答 介護職員と事務職員との給与格差の是正を目的に支給された。

問 対象者が誰も処分されていない。テレビ新聞に報道され市民に不信感を与えている。誰が責任をとるのか。処分するというの

は、これは任命権者の責任の範囲であり、任命権者でない私が、社会福祉協議会の内部管理に関して、これを指示する立場ではない。

問 第三者委員会の報告では、348万円支給している。これはどこから捻出したものか。報告を受けているのか。

答 その財源がどういうものか具体的には聞いていない。

問 第三者委員会の報告で会長の裁量で手当の額や対象者が決められたということ、それはしてはいけないことだと報告の中にあり、大きな責任があると思う。会長は地域の役員やボランティア活動を行う本当に人望のある



社会福祉協議会の全景



鼻岡美保議員

桜が丘中央と新拠点に 児童館を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 赤磐市所有の土地をどう活用するか、市が終始一貫した方向性を持つべきだ。桜が丘中央の整備も新拠点構想のコンセプトの一環として、選ばれる町としての児童館が必要ではないか。

答 児童館は必要だと理解している。桜が丘や新拠点に児童館をとの意識は持っているが、具体的に言える段階ではない。子育て世代の移住・定住のための整備方針を検討する。

本庁舎改修におけるトイレについて

問 洋式、乾式になっているのか。ジェンダー平等の観点から、ホールや庁舎のトイレの男女割合を問う。
答 全数洋式で乾式。

洗浄、乾燥、脱臭、暖房便座が29カ所、多目的トイレが2カ所。本庁舎のトイレの男女割合は2対3。

臨時特別給付金事業

問 新たに住民税非課税となった世帯の給付金支給の手順は。また前年制度分の給付は出ないか。

答 ワンストップで給付出来ない世帯のみ申請が必要。単年度の事業として給付しており、前年分は給付できない。

自治体DXとマイナ保険証

問 DXで経費が3割削減できるのか。国が進めるクラウドはシステム障害の不安はないか。マイナ保険証に代

わる資格者証はワンストップ交付するのか。

答 国のデジタル基盤改革支援助成金はあるが、上限額の引上げを要望する。クラウドは、事業者間で競争しつつシステムを改修することになる。

資格者証の取扱い詳細はまだ国から下りていない。



改修中の赤磐市役所本庁舎



大口浩志議員

教育委員会の 守備範囲の拡大を



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 幼・保・子ども園・小学校・中学校の連携をより深めるために、守備範囲の拡大を。

答 就学前の教育を一体的に行う課の設置等についても、より深く研究を進めていく。

問 例えば、学童保育の事務などは教育委員会、一括でやったほうがいいのでは。

答 学童との連携は非常に大事なことで認識している。

教育予算の増額を

問 新しい取り組みが始まるこの時期に、教育予算の増額を。

答 「教育は人なり」という言葉もある。魅力ある学校を作っていくには、人の配置が重要になってくる。そのような学校作りに役立

つ、人事配置も進めていく。

避難所運営のあり方について

問 規模の面・食の面についての考え方は。

答 一次避難所として4カ所、収容人員として2100人。2次避難所として13カ所、4600人を開設していく。

食の面は、備蓄食料として、約1万食を確保している。

問 避難所生活が、三日目ぐらいになると、食に対する不満が出てくる。大規模避難所ほど食事回数が増える。小規模ほど3回が維持できる。栄養面のかたよりから体調不良が見られるようになるが、サブリ

利用など赤磐市の考え方は。

答 ささまざまな手法を組み合わせ、避難された方たちのストレスがたまらないような工夫が必要と考えている。



こども園・笑顔の園児



原田素代議員

新拠点整備で 将来への責任が取れるのか



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

問 都市計画区域は3695haで赤磐市総面積の約17%だが、この

土地の買収造成工事の10億円が議会に相談なく決まっている。

答 20年後の市の人口は約3万6千人と予想されているなか、問題は残る面積約83%のまちづくりをこの都市化するまぢづくりにいかに落とし込むかが肝心である。落とし込むべき市全体のまぢづくりが取り上げられていないがどう計画を立てているのか。

答 立地適正化計画は都市計画区域の土地利用をどう進めていくかを定めるものである。市の特徴がベッドタウンであるため、職場の不足、商業の販売額、工業の出荷額など

が低い。人口減少を食い止めるために不可欠な計画である。

問 国土交通省が8月8日に発表している情報によると、市の新拠点整備費用に関わる国の補助金が決定している。ホテルの開業、農産物の直売所、道の駅の整備などの事業が令和7年度から開始とあるが、聞いていない。

答 令和7年度を指すという表現である。国庫補助をもらうため動いたもので所管委員会への説明不足は反省している。今後は、情報提供しながら議会へ説明をしていく。

問 市長はスーパーは足りているから誘致しないと誘致しないと言いが、名前は明かさな商業施設は誘致すると答弁した。

市長は「市民の契約だから市は関知しない」と言いながら、「非公式、水面下の調整中」と答弁。関知しないのに、「非公式、水面下の調整中」とは。SNSでは名称が出て、市民説明会では商業施設の名称を市長は話している。

答 今、公表に向けて準備を進めている。時期が来たら説明する。



立地適正化計画にある自立する都市「新生あかいわ」

問 社会福祉協議会で生じた利益を、職員へ配分した行為が市長は正しいと思うのか。

答 違法性がないとの結果を受け取っている。

問 パワハラ問題は、徹底的に調査するよう社会福祉協議会に指示すべきではないか。

答 パワハラについて看過できない思いは同じで、随分改善されたと聞いている。

問 真相を全て知りながら、真実を述べない理由は何か。

答 真相は一体何なのか思い当たる節がない。

市民の意向が反映されない理由は

問 赤磐市のまぢづくり構想に、市民の意向を反映しない理由は。住民と行政が協働



佐藤武文議員

真相を知りながら 真実を述べない理由は



個人質問の映像を録画
放映でご覧になれます。

したまぢづくりを進め、各地区からの意見を伺って、それに応えるよう事業を進めていく。

赤磐市の農業に夢と希望が持てるのか

問 就農等支援センターは、課題が山積している赤磐市の農業にどんな効果が期待できるのか。

答 農家の負担軽減、経営感覚を持った担い手の育成と農業者の若返り、経営面積拡大による耕作放棄地の減少や農地集積の効果を見込んでいる。

赤磐市での英語教育の取り組みは

問 多言語が話せない時代が到来し、英語を聞

く、話す、読む、書くことが求められる時代に変わってきた。

答 英語力を子供たちにしつかりと身につけさせることが大切である。全国学力調査英語4技能テストの結果を基に各学校において授業改善を進めている。



社会福祉協議会の全体写真

9月定例会のあいまし

委員会のしりぞ

いっぽん質問

その他協議会等

議会全員協議会

主な協議・報告事項

8月23日

・令和5年9月第4回赤磐市議会定例会について

・田原用水組合議会議員の補欠選挙について

・決算審査特別委員会について

・佐々木元議員から提訴された名誉毀損裁判結果について

最高裁判所から8月3日付で「裁判官5名全員一致で上告棄却の決定がされたとの通知が来た」と議長より報告があった。

9月22日

・議会報告会について

議会改革検討委員会

主な協議・報告事項

8月23日

・議会改革に関する提案について

議会のルールへの遵守について、議員定数の削減や議員報酬の改定など9件について提案があった。

9月22日

・議会改革に関する提案について

提案に対し各議員が意見を提出し、意見シート集計結果を公表。これらを基に今後話し合っていく。

まちづくり調査特別委員会

主な協議・報告事項

8月21日

・執行部が行った視察の報告を受けた。

9月7日

・視察研修先について協議した。

ようこそ赤磐市へ



令和5年7月26日に、神奈川県高座郡寒川町議会文教福祉常任委員会が「部活動『地域移行』の課題について」の調査のため視察に訪れました。

厚生文教常任委員会 視察研修

厚生文教常任委員会は10月6日に4カ所の視察を行った。

10月6日

① ケアハウス桃香

介護福祉施設の運営や現状などについて説明を受けた。

② 星ふる福祉の郷

障害者福祉施設の運営や現状と課題について説明を受けた。

③ 桜が丘中学校

「未来が見える学校プロジェクト」の説明を受けた。



桜が丘中学校

④ 磐梨中学校（中央公民館にて）

部活動地域移行について説明を受けた。

総務常任委員会 視察研修

総務常任委員会は8月9日に2カ所の視察を行った。

ドタクシーの予約は当日の30分前とのことであった。

8月9日

①新見市役所「公共交通について」

JR芸備線の利用促進策として、芸備線3駅までのアクセス向上を目的に哲西地区で乗り合いタクシーの運行、市営バス増便、ダイヤ改正を実施。利用者が1・6倍に増えた経緯を聞くための視察。新見市ではデマン



まちづくり調査特別委員会 視察研修

まちづくり調査特別委員会は10月10日に2カ所の視察を行った。

道の駅関係施設、特に物販施設（農産物直売所）を中心に視察を行った。

10月10日

①道の駅いたの

徳島県板野町に17人の委員全員と総合政策部・建設事業部職員と視察を行った。

板野町より町長・議長・執行部が出席し、設立経緯・整備の方法・営業形態について説明を受けた。

②道の駅くるくるなると



道の駅いたの

研修報告

第53回岡山市議会議員研修会

講演

人口減少時代のまちづくりと地域経済の活性化をテーマに演題として、「空き家の増大と住宅政策 スポンジシティの未来」と題し、講演を聞いた。

講師

西村 浩氏（株式会社ワークビジョンズ代表取締役）、であった。

岡山県関係では岡山市の県庁通りの活性化と、津山市内ホテル跡地の活性化に携わっていた。

ポイントとして、低・未利用地の不動産の土地利用がまちの行方を左右する。という考えのもと、エリアの価値を上げる、人気のまちに変える。

小さくはじめて、大きく育てる。

キーワードは社会実験。

誰かがやってくれる、ではなく住民自身が当事者になれるのか。＜欲しい暮らしは、自分たちで作ろう

前例はないけど、やってみるしかない。



まとめとして

妄想力・5年後の未来を妄想しよう。
構想力・持続可能な仕組みを構想する。
実行力・覚悟と責任をもって実践する。
という内容であった。

改めて新しい発想、取り組みの大切さを認識した研修であった。

佐々木雄司元市議会議員の代理人から 提訴された判決結果の報告について

赤磐市議会議員倫理審査会の設置と審査 結果について

赤磐市が発注した介護施設の設計・建設工事について、便宜を受けた見返りに現金を市議に渡そうとした暴力団幹部の逮捕記事が平成30年11月8日の新聞に掲載された。

これを受け、市議会では「議員倫理基準に違反する行為の調査請求」を平成30年12月5日付で議長に行い、同日赤磐市議会議員倫理審査会を設置し、平成31年2月27日に審査結果が議長に提出された。

倫理審査会の報告を受け、市議会として、「佐々木雄司副議長に対する不信任決議の動議」が平成31年3月18日の本会議で提案され、可決した。

赤磐市議会だよりに「佐々木雄司副議長に対する不信任決議の動議」、「赤磐市議会議員倫理審査会の審査結果の報告」等について掲載し、市民に配布した。

訴状の概要について

原告は、副議長不信任決議の動議を提出した行為、赤磐市ホームページおよび赤磐市議会だより
に倫理審査会の結果報告を公開した行為等により、名誉を著しく害されたとして、赤磐市に対し、謝罪広告の掲載と110万円の支払いを求めて令和元年6月4日に訴えを提起した。

裁判の経過と結果について

令和4年1月18日、岡山地方裁判所の一審判決は「請求棄却」により市の勝訴。

令和4年1月27日、広島高等裁判所岡山支部に控訴の提起がなされ、令和5年2月28日、「控訴棄却」により市の勝訴。

令和5年3月1日、最高裁判所への上告提起等がなされ、令和5年8月3日、「本件上告を棄却する。」「本件を上告審として受理しない。」「上告費用および申立費用は上告人兼申立人の負担とする。」「との裁判結果を裁判官5人全員一致で決定し、市の勝訴が確定した。

編集後記

最近公共交通についての議論が活発になっていきます。特に車を所有しない人の移動の自由を確保することは重要な課題です。

導入が期待されているハレカーフカードは、半導体不足で納入が遅れています。バスの乗車料金が半額になるため待たれています。来年2月1日スタートの予定です。

また9月の広報あかいわには市民バスのお試し乗車券が印刷されています。

赤坂地域のデマンドバス運行は令和6年1月から当日1時間前に予約すれば利用できるよう試験運行されます。

他を煩わすことなく自由に行動できることは誰にとっても幸せなことです。

「住み続けられるあかいわ」をつくり上げていくために市民の皆さんと一緒に知恵を出し合いましょう。

広報広聴委員(広報部会)

- 部長 光成 良充
- 副部長 鼻岡 美保
- 委員 福木 京子
- 委員 大口 浩志
- 委員 保田 守
- 委員 安藤 利博